

まんが豆知識

～チエサ～

チエサとはすごく簡単に説明すると先祖の霊を子孫が敬うという事でしょう。日本ではいう法事にあたると思っています。

昨今、日本に住む在日韓国人の方でもチエサをしない家庭が多いようです。時代の流れですから、簡素化や省略等、仕方の無い事なのかなとも思っています。



ところで、このチエサって各家庭で様々なやり方があります。

友人の話聞いて驚くこともあります。正しいとか間違っているとかではなく、各家庭の料理の味付けが違うように、チエサのやり方も各家庭で違ってくるのです。

今回は私の家「慎家のチエサ」を覗いてみましょう。

まず、日程ですが我が家では旧正月・旧盆は暦通りの正月・盆にしています。(その方が休みが取りやすいからです)そして、没者の命日です。



そして服装は正装です

基本はスーツ

最低でも

ブラウスとスカート



ところで我が家ではチエサの1週間前前から家中、大掃除をします。



死者は髪の毛と小石を嫌うそうです。



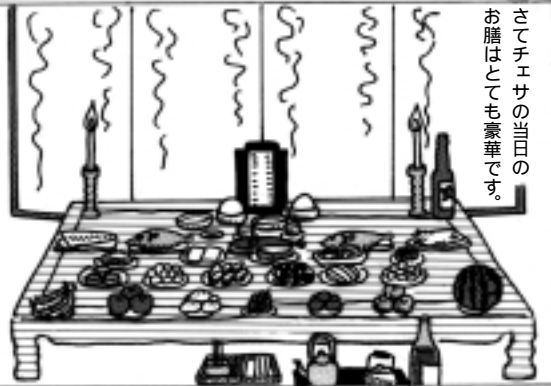
時間帯は正月・盆は朝6時から。命日は夜0時からです。



買い物の量もハンパじゃありません



さてチエサの当日のお膳はとても豪華です。



絶対にお膳にのせる物は水・米・酒・栗・なつめ・豆菓子です。配置は我が家では次の通りです。



挨拶の仕方は胸の前に手を合わせ、次に額に手の甲をつけ伏せ。また胸の前に手を合わせます。3度行います。



この動作を2回繰り返し、時間を分けて3度行います。

チエサが終わると全ての料理を少づつづつって用水路へ流しに行きます。(本当は川に流すらしいのですが...)



私のアボジは一人っ子なので親戚は来ませんが私たち子どもも時間を合わせ、できるだけ家族全員でチエサをします。先祖の霊を敬う事が大切ですが、チエサという場をかりて普段逢えない親類達が近況報告する良い機会も兼ねているように思えます。



チエサの時、お膳を並べるときは、お膳の裏側に遺影を置く。お膳の裏側に遺影を置く。お膳の裏側に遺影を置く。